



the most beautiful  
villages  
in japan

# 美しいむらづくりネット

編集 馬瀬地方自然公園づくり委員会 情報発信部 0576-47-2111  
発行 No. 2 平成20年11月10日



## ウォーキングコース 検討チーム

責任者 小池 永司  
副責任者 無笹 聡  
小林 喜久寿  
川口 昭八郎  
高瀬 良夫  
今井 和重  
河田 淳

支援チーム

な活動であると考えています。より正確で的確な情報をつかみ、今後の活動に大いに生かしたいと思っております。



## 外部評価チーム

責任者 加藤 久人  
副責任者 二村 ミナ子  
中川 護  
小林 学  
石丸 佐太三

支援チーム

宮田 光太郎

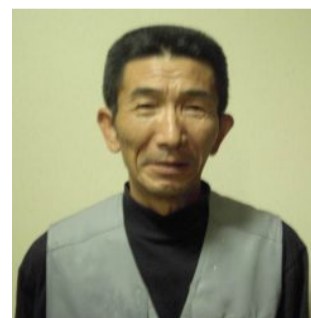
外部に当たる周辺都市等において、馬瀬地域がどの程度認知され、評価されているか？また、私どもの様な田舎地域に求められている物は何か？を探る事を重要課題としてしています。その為の具体策としては、ネットを通しての無作為に広範囲の方、馬瀬にお越し頂いた方、県職員を通しての県内地域の方等にアンケートを実施し、今後の地域活性化へ向けての問題点などを探る事を主とした活動としています。外部のニーズを探ることが全ての活動のスタートであり、向かう方向が違えば進路も大きくずれた物になってしまふ為、重要な活動であると考えています。より正確で的確な情報をつかみ、今後の活動に大いに生かしたいと思っております。

「日本で最も美しい村」馬瀬の全域を五感で感じてもらうため、アスファルト舗装の道はなるべく避け、馬瀬川沿いに28kmを、昔から人が歩いてきた里道、猟師道、堤防、舗装されない農道など、自然の多い道をつなぐコースが出来ないか現地調査を重ねています。7月から毎月一回のペースで、ほぼ馬瀬全域の概略調査をおえました。むら（郷）を28kmも川沿いに縦断するわが国でも珍しいコース作りにご協力をお願いいたします。二面に関連記事を掲載しております。



## 四つのチームが活動しています。

それぞれのチームの活動と、抱負を責任者に伺いました。みなさん、ご協力お願いいたします。



## 特産品ブランド化 チーム

責任者 老田 達男  
副責任者 山本 さとみ  
森本 富美子  
二村 中 義彦  
田中 江 正  
森江 ちか子  
細江 健夫

支援チーム

大野 武原 健義

馬瀬に多くの人を招きいれて活性化をはかるためには、何を特産化、ブランド化すればいいのか？また、どのように製品化すればいいのか？



鮎・ほう葉すし・馬瀬ひかり・ケイチャン・漬物・トマト・ねずし等。メンバーの皆さんと一緒に知恵をしぼっています。



## 情報発信チーム

責任者 中川 一子  
副責任者 川口 恵里子  
高瀬 純  
野村 東喜  
二村 寿集  
尾里 昭護  
宮崎 昭護

支援チーム

馬瀬の様々な団体が、地域内外にたくさん情報を発信しています。それらの情報をもっと効果的に発信するための分析・検討をしていますが、その量（特にネット発信）の多さにちよつとびっくりです。また、この委員会の活動をみなさまに分り易くお伝えすることも大きな仕事です。

「日本で最も美しい村馬瀬」をテレビ放映！

11月18日(火) 午後7時～7時54分

TBS系デジタル放送局 BS6チャンネル

BSiハイビジョンのひととき「美しい村」

# 一周56kmのウォーキングルート(馬瀬川めぐり自然歩道)



## ～ もう西村から川上まで歩きました。～

究極のアウトドアライフは百姓(農耕)ではないか...。また究極のアウトドアスポーツは二本の足で歩くことではないか...。とおっしゃるウォーキングコース検討チームのアドバイザー、洞口健児先生に、なぜ馬瀬にウォーキングルートをと考えられたのかを語っていただきました。



村(敢えて「村」と呼ばせていただきます)のほぼ中央を南下する馬瀬川は、村の南北距離とほぼ同

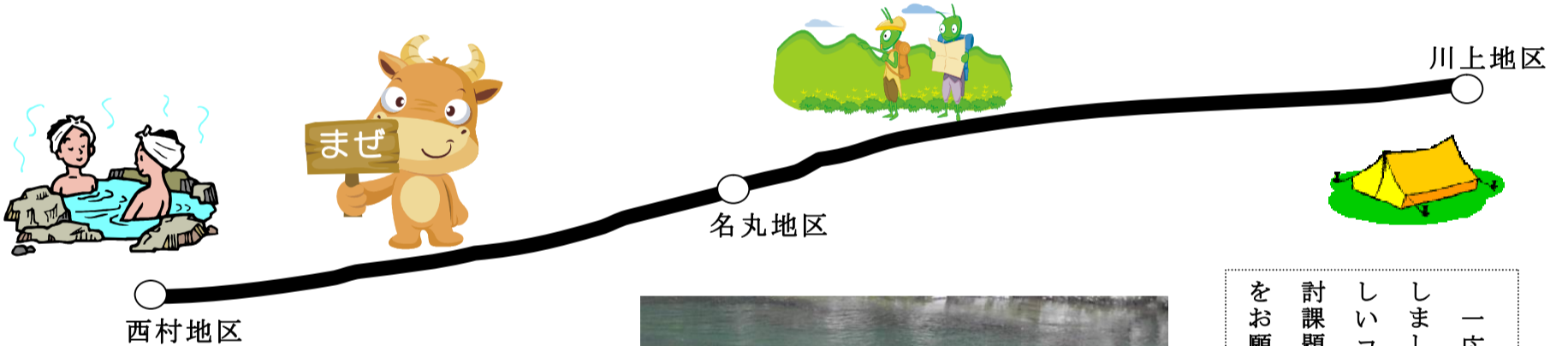
じ28kmあります。私は馬瀬川の美しい佇まいは県内にも、近隣県にもない素晴らしい景観を成すものと認識しています。その理由をいくつか挙げますと

- ① ほぼ北から南にまっすぐ流れ下っていること(意外とないのですよ)
- ② 険しいV字谷ではなく、川の両岸がなだらかなところが多いこと。
- ③ 両岸が稜線まで広く見通せること。
- ④ 流れが浅く川幅いっぱい流れているところが多いこと。

従って、水面も、両の岸も、稜線までの全体に陽が射して大変に明るく伸びやかな景観を成し、これは山郷にあつて実に心休まる優しく穏やかな風景となります。馬瀬の風景の美しさとしてこの点が先ず特筆できる点です(鮎の美味しい理由もわかる気がします)。

またその優しい馬瀬川には瀬もあり淵もあるのですが(多くは馬瀬十景になっています)、これがまた実に優しくも穏やかな流れで、心休まる風景となっています。

このような他に例のないほどの馬瀬の美しい山郷の景観を見ていただき、堪能していただくには、やはりこれはその風景の中に身を



美輝の里の温泉、西村地区の山村風景。おしゃべり畑のハーブ園や畜産農家の動物たち。これらを結ぶルートは昨年完成し、今案内パンフレットも製作中です。



くろみ淵付近で話し合う

一応全地区を歩くことはいたしましたが、ウォーキングに相応しいコース作りはこれからの検討課題です。地区の皆様のご協力をお願いいたします

置き、ゆっくりと四季の自然を味わっていたかねばと考え、それには歩く早さで感じ取っていただきたいと思うわけです。そして、南北28kmの馬瀬川の両岸にまずは往復、延56kmの歩くための道を設定しようというのがウォーキングマップ作成の基本的な考えであります。

この道はあくまで「設定」でありまして、極力自動車道を避けて既存の道を上手く繋ぎ、歩くにこそ相応しい、歩く値打ちがある道としたいと考えています。こうした道はヨーロッパではフットパスと呼ばれる、自然散策に大変人気のあるものとなって多く普及しています。田んぼの中の畔道や、川の堤防道路、山辺の農道や、森林内の作業道などを辿り、馬瀬の風景の中をどこまでも歩けるものにしたとを考えています。

今、西村から川上地区までの設定を終えました。しかしこれはまだ第一段階ですので、これから詳細を詰めていく作業に入ります。順次各地域で一周できる小さなループを完成させて、それらをまた繋いで馬瀬周遊自然歩道の完成をめざしています。

